

會長講演

第55卷第3號 昭和14年3月

我土木技術者の海外進展に就て

(昭和14年2月15日土木学会通常總會に於て)

會長 辰馬 鎌 藏*

不肖計らずも時局下に於ける會長の椅子を汚し非才其の責務を果し得ざるに係らず、役員諸士の熱誠なる御協力と會員各位の懇切なる御後援とにより大過なく今日に及びたるを深く深く感謝する次第であります。

唯今、職を退くに當り一言所懐を述べて會長講演に代へたいと思ひます。

徳川幕府倒れ王政復古明治維新の世となるや文明開化の聲は津々浦々迄響き渡り歐米の文化は澎湃として怒濤の押寄する勢にて移入し來たのであります。

今日我國が東亞の盟主となり現代の隆盛を見るに至つたのは5箇條の御誓文により未曾有の大変革をなさんと誓ひ給ひし明治大帝の偉大なる御聖徳によるものなるも、新舊思想相拮抗し世相紛亂せる混沌時に能く上下一致し此の御誓文を畏み舊來の陋習を破り泰西文化の長を執り或は教育に或は歐米留学に或は外人僱聘等に於て近代文明の心髄を吸収し、同化に向つて邁進し來れる不屈不撓の努力によるものと云はねばなりません。土木技術に於て又然りでありまして測量、鉄道、港灣、河川、砂防、水道等の學術指導者として工部大学、舊開成校、南校及札幌農学校等に教師として招聘せられたるもの十數人、土木事業の計畫及施工の指導監督者として内務省、鉄道關係及北海道廳等に雇工師又は雇技師として招聘せしもの50餘人の多數に及んだのであります。我土木技術の歐米の夫に遜色なく進歩し來りたるは我々諸先輩の技術に對する理解ある愛着心と卓越せる頭腦と切實琢磨の奮勵努力によるものなるも亦此等招聘外人の博愛指導力に負ふ處多いのであります。従つて其の功績は滅却すべからずと思ひます。本學會茲に見る處あり此等外人の遺業功績を後世に傳へ永へに感謝の意を捧げんため外人遺功調査會を設けたるは我國民道德の本義に添ふものと信ずるのであります。

然るに今日に於ては此等外人の力を待たず啓發によらず指導によらず、我國独自の力により土木事業を計畫し實施し其の効果を挙げつゝあることは快心の至りに堪へざるものであります。

然はあれ土木技術の進歩の向上は多年の経験と孜々として捲まざる研究の力によるものにして此の點に於ては我國土木技術の研究は先進國に比較し日尙殘きの憾みあるのであります。其の上今後に於ける土木技術の舞臺は内地に止らず、外地に於て日本技術者の手腕を發揮すべき場合多くの外人により批判せらるゝ國際的性を帶び凡に於ては層一層常に倦まず捲まざる切々たる研鑽力を以て更に一段の向上進歩する覺悟と堅き決心を要するものと思ふのであります。

次に海外に進出せる技術者の狀況を御話し申し上げます。

アフガニスタン國の招聘に応じ内務省より3人の技術者を派遣致したのでありますが、此の技術者はアフガニスタン國の道路、橋梁、建築、都市計畫、水路、堰堤等の調査設計に従事し、此の設計の或るものは實施せられて居るのであります。實施中の一例を舉ぐれば3萬町歩及6萬町歩の綿作耕地の灌溉用水工事であります。此の工事は何れも毎日2千人又は4千人の雇夫を使役せる彼國に於ては重要な大土木工事であります。此の工事は以前獲逸

* 内務技監

人技師の設計になり其の指導により着手せられたのでありますが、失敗に歸したのであります。我技術者の手に移るや着々成功し好成績を擧げて居るのでありまして、アフガニスタン政府は是非邦人技術者の手により完成せられたしとの強き要望があつて居るのであります。

此の指導に當つて居る某技術者は風土病に罹り甚だしく健康を害せるにも拘はらず、代りの技術者の来る迄堪み止る決心をして働いて居るのであります。3人の技師中1人は既に歸國致して居り、他の2人は本年契約満期となるので此の代りとして2人の技師及2人の助手を派遣すべく今交渉中であります。

昨年シヤム國バンコック港の修築計畫案募集に我國も参加し英、米、獨、佛、伊等により応募した22案中で我國の案が第一位獲得の名譽を得たのに徴しても我國土木技術が今日に於て先進外國に比較し何等遜色を見ず、寧ろ優秀を示す一つの證據であると意を強くして居る次第であります。

此の國の招聘に応じ内務省より派遣致しました2人の技師中1人は生前自ら南進院釋貫徹居士と戒名迄造り骨を彼地に埋むる犠牲的精神で僱聘に応じたのでありますが、不幸讖をなし休暇歸朝療養中病死し素志を貫徹せなかつたことは誠に残念で追惜の念に堪へません。1人の技師は本年契約満期となるのでありますが、今回の事変により彼の國情我に不利で邦人は歓迎せられませんが、本人ならば契約更新したしとの要求を聞いて居るのでありまして誠に結構な事と喜んで居るのであります。

以上は私の知れる範圍内に於ける一例を申し上げたのでありまして、他に如斯邦人技術者の海外に於ける涙ぐまじき健闘振りが多々あるものと思ひますが、此等の技術者に對し海外進展の先驅者として吾々は萬腔の感謝の意を表したいと思ふのであります。

滿洲國に於ては創國以來多數吾々の同僚技術者が滿洲國官吏として又會社員として進出し國都建設都市計畫事業、鉄道、道路の交通事業、資源開發事業、河川の治水事業及水力發電事業等の滿洲國發展の基礎をなす土木事業が何れも其の軌道に乗り來れるは奮勵努力の賜にして我國の發展と滿洲國の發展とは密接不可分にある關係上慶賀措く能はざるものであります。

北支及中支に於ては戰地第一線に於て治安維持工作に於て又將來の經濟文化工作に於て軍人と共に命を抛ち吾々の同僚技術者が夫々活動せるは今更茲に申し上げる要なきことと思ひます。

今次事変前及事変中以上申し上げました方面即滿洲國、支那臨時政府、中支、蒙疆、アフガニスタン國、シヤム國等の方面に軍囑託、軍屬、官吏、會社員及雇技術者等として内務省及内務省關係、鉄道省及鉄道省關係より派遣せし或は招聘せられし技術員の概數は2千數百名に及びうち技師級以上は200餘名の多きに達して居るのでありまして、之を明治初年よりの外人招聘數50餘名と比較し對稱致しますときは所謂今昔の感深きものあるのであります。又今次の事変は日清、日露の戰役と異なり戰爭終結するも聖戰の成果を收むるためには建設工事文化工作は長期に亙り行はる可く土木工事は此等の基礎工事として先づ第一に着手せられ、此の成否が從つて聖戰目的達成の要素であることからして此の任に當る技術者の使命は重且大なりと云はなければなりません。

我土木學會に於て調査致しました昭和13年8月現在の現職技術者の概數は約2萬7千餘人でありまして大學出身約1500餘人、專門學校出身約5500餘人、普通學校出身約20000餘人で之を專門別に致しますと鉄道關係約7200餘人、道路關係約6100餘人、河川砂防關係2500餘人、港灣關係約830餘人、上下水道關係約2200餘人、都市計畫關係約820餘人、發電水力關係約2000餘人、その他5700餘人でありまして此の概數に對して約1割近い人が今次事変前及事変中に進出して活動して居るのでありまして、土木技術者が土木報國の實績を擧げて居ることを示すものでありまして、誠に喜ばしき限りであります。如斯土木技術者の進出が目醒ましく喜ばしき

ことではありますが、此の結果内地に於ける技術者不足を告げて來たのであります。尙私の關係せる範圍に於ける海外技術者派遣の要求を受け得る概数は約 1000 名を數へるのでありまして、如何にして此の要求を満すかは非常なる大問題でありまして之は技術者がお互に協力して解決せなければならぬ問題であると思ひます。

Ⅵ. 内地事業、基より等閑に附することは出来ません。然し大陸政策は我國將來の飛躍發展上より國是として之を取り扱はなければなりません。又技術者に取りては此の國是に従ひ技術者發展の新天地を拓き技術者の重用を實行する機運を逃してはならないのであります。内地に於ては當然技術者が占むべき地位で容易に與へられざる地位が外地に於ては容易に得られ、而も支障なく好成績を擧げ、技術者重用の實績を示して居る状況を深く考へなければなりません。

支那に於て行政事務方面では色々の意味で日本人の援助を欲しませんが、技術者缺乏せる關係上技術者の招聘は歓迎し希望せる實情でありまして、従つて技術を以て援助することは日支提携、日支親善の上に最も摩擦少き良方法であります。

此の際技術者の進出に對しては我國將來の大陸政策上の見地よりして將來技術者發展及重用の礎石となるのであると思ひ、又或は日滿支提携親善の楔子となるべきを思ひ積極的に相協力して援助する覺悟と決心を準備すべきではないかと思ひます。

技術者缺乏に對しては技術者總動員的に考へ適在適所に相當年輩の健康者をも働いて貰ふと云ふ様に考へなければならぬのではないかと思ひます。

又本年土木諸学校の卒業生は其の需要の幾分を満し得たと云ふ程度であると聞いて居るのでありますが、恐らく斯かる状況は相當続くものではないかと思はれるので、学校當局者は此の間の狀勢を篤と御調査あり、技術者養成の適當なる措置に出でられんことを希望するものであります。